

海洋理工学会 令和3年(2021年)度秋季大会プログラム

11月5日(金) オンライン(ZOOM)(運営本部:サイエンスアンドテクノロジー)

10:30- 入室
10:50-11:00 開会、会長挨拶、賞状授与

学会賞受賞記念講演

11:00-11:30 H1. [令和2年度 顕功賞]
海洋理工学会の運営と海洋学への貢献 —海洋学の発展に必要な産官学協力—
石田 和憲 (株式会社 KT サポート)

11:30-12:00 H2. [令和2年度 業績賞]
地球環境問題への貢献
工藤 充丈 (日本エヌ・ユー・エス株式会社)

12:00-13:00 昼休み

一般講演

13:10-14:10 一般講演1 「数値モデルを用いた解析」

- A1. 海洋酸性化による生物代謝の変化が炭素吸収・固定・貯留機能に与える影響
☆ 大町 佳史・相馬 明郎 (大阪市大院)
- A2. Ecopath with Ecosimモデルによる イカナゴ資源の栄養塩・温度依存性の解析
☆ 屋敷 朋也 (大阪市大院), 西川 哲也・反田 實 (兵庫水技セ), 相馬 明郎 (大阪市大院)
- A3. マングローブ-海草生態系の気候変動の緩和と河川水質の関係性
☆ 両國 彰人・相馬 明郎 (大阪市大院)

14:10-15:10 一般講演2 「海洋物理・生物影響に係る研究」

- A4. 黒潮流路の時間変動の局所性
☆ 平野 雄也・植原 量行 (東海大)
- A5. 北太平洋の南北方向の熱輸送と体積輸送 —ARMOR3Dによる解析—
☆ 深海 雪奈・植原 量行 (東海大)
- A6. アカモク幼胚の初期生長に対するCuの影響
☆ 佐藤 麟太郎・三木 理・奥村 真子 (金沢大)

休憩(5分間)

15:15-16:15 一般講演3 「海洋観測・解析に係る研究」

A7. CCSの海中漏洩検知指標の問題点および新指標の提案と対策

☆ 岡村 拓歩 (海洋大)

A8. Vertical distributions of microplastics in the Sea of Japan from the surface to 900 m deep: observations by use of a 64 μm MOCNESS

☆ Gürses, Rıdvan Kaan · Zhang, Qian · Nakano, Haruka · Arakawa, Hisayuki · Tanaka, Yuji (Tokyo University of Marine Science and Technology)

A9. 黒潮大蛇行がスロースリップイベントに及ぼす影響：孔内とDONETの観測データの統合解析

○ 有吉 慶介・木村 俊則・宮澤 泰正・ヴァーラモフ セルゲイ・飯沼 卓史・永野 憲 (海洋研究開発機構), ゴンバーク ジョアン (米国地質調査所・ワシントン大学), 荒木 英一郎・美山 透・末木 健太郎・矢田 修一郎・堀 高峰 (海洋研究開発機構), 高橋 成実 (防災科学技術研究所), 小平 秀一 (海洋研究開発機構)

16:15-17:15 一般講演4 「海洋観測機器・解析手法に係る技術開発」

A10. ハイドロfoilを搭載したASVの開発 一曳航水槽での離水試験一

☆ 藤井 竣・田原 淳一郎・森戸 誠・小野 聡太郎 (海洋大)

A11. 300L級大型CT校正システムの紹介

○ 馬場 尚一郎 (JAMSTEC), 横田 牧人・鎌田 稔 (MWJ)

A12. 漁業利用のためのリモートカメラシステムの開発 -SNSの活用-

○ 田原 淳一郎・藤井 竣 (海洋大), 和泉 充 (鳥羽商船高等専門学校)

17:15-17:20 ベストプレゼンテーション賞発表(☆発表者が対象者)

17:20-17:30 閉会